

# 平成28年度上期観光入込客数調査の概要

平成29年3月  
北海道経済部  
観光局

## 1 観光入込客数(実人数) 3,576万人 (前年同期比 Δ0.7%)

平成28年4月から6月までの本道における観光入込客数は、ゴールデンウィークが飛び石連休となり、また天候に恵まれず、6月も不順な天候が続いたことから日帰り道内客の出足が鈍かったものの、3月に開業した北海道新幹線を利用した道外客が伸びたことなどから、前年同期とほぼ横ばい(0.3%増)となりました。

7月から9月においては「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」が展開され、新幹線利用客が好調を保ち、8月に新設された祝日「山の日」による旅行需要の伸びも見られましたが、8月から9月にかけて発生した台風等により主要な鉄道路線の運休や幹線道路の通行止めが続いたことから、宿泊施設のキャンセルや旅行の手控えなどにより、前年同期と比較して1.6%の減少となりました。

4月から9月までの上期の合計は、前年同期と比較して0.7%減少の3,576万人で、上期としては5年ぶりに前年度を下回りました。

内訳は、道内客は3,125万人、道外客は352万人、訪日外国人来道者は99万人になります。

### <平成28年度上期 観光入込客数(実人数)>

区 分		日帰り	宿 泊	計	構成比
第1四半期 (4~6月)	道内客	1,088万人	248万人	1,337万人	88.1%
	前年増減比	Δ1.4%	+2.1%	Δ0.7%	
	道外客	2万人	138万人	140万人	9.2%
	前年増減比	+100.0%	+7.8%	+8.5%	
	外国人	—	42万人	42万人	2.8%
	前年増減比	—	+8.8%	+8.8%	
合 計	1,090万人	428万人	1,518万人	100.0%	
前年増減比	Δ1.3%	+4.6%	+0.3%		
第2四半期 (7~9月)	道内客	1,509万人	279万人	1,788万人	86.9%
	前年増減比	Δ2.4%	Δ1.4%	Δ2.2%	
	道外客	10万人	201万人	211万人	10.3%
	前年増減比	+25.0%	±0.0%	+1.0%	
	外国人	—	58万人	58万人	2.8%
	前年増減比	—	+10.8%	+10.8%	
合 計	1,519万人	538万人	2,057万人	100.0%	
前年増減比	Δ2.3%	+0.4%	Δ1.6%		
上期 (4~9月)	道内客	2,597万人	527万人	3,125万人	87.4%
	前年増減比	Δ2.0%	+0.2%	Δ1.6%	
	道外客	12万人	339万人	352万人	9.8%
	前年増減比	+33.3%	+3.0%	+4.1%	
	外国人	—	99万人	99万人	2.8%
	前年増減比	—	+10.0%	+10.0%	
合 計	2,610万人	966万人	3,576万人	100.0%	
前年増減比	Δ1.8%	+2.2%	Δ0.7%		

※各数値は、万人単位で四捨五入しているため、合計が合致しない場合があります。

## 2 訪日外国人来道者数(実人数) 994,300人 (前年同期比 +10.0%)

平成28年4月から6月までの訪日外国人来道者数は、函館空港や旭川空港への直行定期便の運航休止などにより、2年連続して急増した中国の伸びが一服したほか、直行定期便運航本数が減ったタイが微減となったものの、北海道の桜への人気の高まりなどから韓国やマレーシアが伸び、前年同期と比較して8.8%の増加となりました。

7月から9月においても、直行定期便の新規就航や増便が相次いだ韓国や、北海道のラベンダーに人気があるマレーシアが大きく伸びたことなどから、直行定期便の減便などにより台湾や中国が減少したものの、前年同期と比較して10.8%の増加となっています。

4月から9月までの上期の合計は、前年同期と比較して10.0%増加し、100万人に迫る勢いとなり、日本全体の訪日外国人旅行者数1,222万人の8.1%を占めています。

国・地域別にみると、台湾が24万8,900人、以下、中国20万3,400人、韓国20万3,200人、香港8万600人、タイ6万9,400人となっており、韓国が中国に並ぶ水準になっています。

<平成28年度上期 訪日外国人来道者数(実人数)>

国・地域	第1四半期			第2四半期			上期			
	来道者数	前年同期比	構成比	来道者数	前年同期比	構成比	来道者数	前年同期比	構成比	
アジア	台湾	102,900人	+1.3%	24.7%	146,000人	△8.1%	25.2%	248,900人	△4.5%	25.0%
	中国	101,800人	△7.6%	24.5%	101,600人	△6.3%	17.6%	203,400人	△7.0%	20.5%
	韓国	66,100人	+29.1%	15.9%	137,100人	+51.2%	23.7%	203,200人	+43.2%	20.4%
	香港	36,200人	+3.4%	8.7%	44,400人	△5.7%	7.7%	80,600人	△1.8%	8.1%
	タイ	27,600人	△1.4%	6.6%	41,800人	△1.4%	7.2%	69,400人	△1.4%	7.0%
	マレーシア	29,900人	+107.6%	7.2%	39,000人	+107.4%	6.7%	68,900人	+107.5%	6.9%
	シンガポール	10,900人	+16.0%	2.6%	20,600人	+19.8%	3.6%	31,500人	+18.4%	3.2%
米国	7,600人	+26.7%	1.8%	12,600人	+28.6%	2.2%	20,200人	+27.8%	2.0%	
オーストラリア	7,600人	+52.0%	1.8%	5,600人	+30.2%	1.0%	13,200人	+41.9%	1.3%	
カナダ	2,700人	+17.4%	0.6%	5,200人	+36.8%	0.9%	7,900人	+29.5%	0.8%	
ロシア	2,500人	△3.8%	0.6%	2,800人	△17.6%	0.5%	5,300人	△11.7%	0.5%	
その他(不明含む。)	20,200人	+21.0%	4.9%	21,600人	+27.1%	3.7%	41,800人	+24.0%	4.2%	
合計	416,000人	+8.8%	100.0%	578,300人	+10.8%	100.0%	994,300人	+10.0%	100.0%	

※参考 平成28年度上期(4~9月)計

全国	12,224,277人	北海道	994,300人	8.1%
----	-------------	-----	----------	------

※参考 平成28年1~9月計

全国	17,977,096人	北海道	1,726,500人	9.6%
----	-------------	-----	------------	------

※全国は、日本政府観光局(JNTO)による。

### 3 圏域別の観光入込客数（延べ人数）

全道179市町村における平成28年度上期の観光入込客数（実数）を合計した総数（延べ人数）は、8,997万人で、前年同期と比較して0.7%の減少となりました。

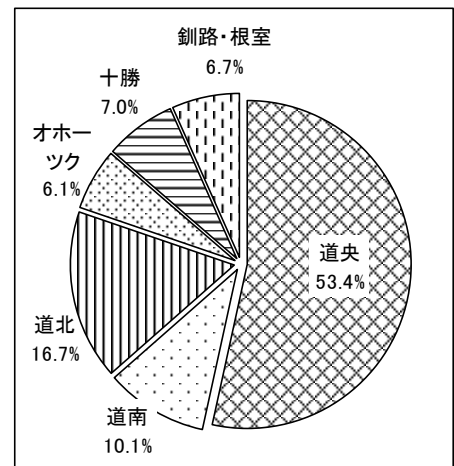
北海道新幹線の開業効果を大きく受けた道南圏が前年同期と比較して16.2%増加しましたが、他の5圏域は8月から9月にかけて発生した台風等の影響などにより前年同期を下回りました。

<圏域別観光入込客数（延べ人数）>

圏域	観光入込客数	前年同期比	増減数	構成比
道央	4,807万人	△0.7%	△32万人	53.4%
道南	908万人	+16.2%	+127万人	10.1%
道北	1,505万人	△3.3%	△52万人	16.7%
オホーツク	547万人	△7.2%	△42万人	6.1%
十勝	631万人	△9.0%	△62万人	7.0%
釧路・根室	599万人	△0.3%	△2万人	6.7%
合計	8,997万人	△0.7%	△63万人	100.0%

※各数値は、万人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。

<圏域別構成比>



<各圏域の増減要因>

道央圏	「道の駅サーモンパーク千歳」や「道の駅みたら室蘭」など入込みが増加した観光施設があった一方、天候に恵まれず集客が伸びなかったイベントがあったほか、8月から9月にかけて発生した台風等による悪天候の影響で行楽の出足が鈍ったことなどから微減となりました。
道南圏	3月に北海道新幹線が開業したことに加え、7月から9月には「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」が展開されたほか、1月に「道の駅みそぎの郷きこない」、3月に「道の駅しかべ間歇泉公園」などの観光施設のオープンが増加を後押ししました。
道北圏	ファーム富田（中富良野町）、雲海テラス（占冠村）などの観光スポットが国内外の観光客から根強い人気を保ったほか、JR留萌線留萌一増毛間の12月廃止前の乗客増などがあったものの、8月から9月にかけて発生した台風等による温泉地の一時営業休止や観光地の一時閉鎖があったことなどから減少しました。
オホーツク圏	芝桜など花観光の時期や夏休み時期に外国人観光客が増加したほか、ラグビーなどスポーツ合宿の受入が定着し、「もんべつ観光港まつり」などのイベントが好天に恵まれたものの、8月から9月にかけて発生した台風等により鉄道路線が運休したことなどから減少しました。
十勝圏	7月に大樹町で「新・ご当地グルメグランプリ」といった大規模イベントが開催されましたが、8月から9月にかけて発生した台風等による鉄道路線の運休や幹線道路の通行止めが続き、宿泊施設のキャンセルや秋のイベントの中止などに見舞われたことなどから減少しました。
釧路・根室圏	3月の道東自動車道阿寒インターチェンジの開通による交通アクセスの向上のほか、夏でも涼しい釧路の知名度の浸透による道外客の増加がありましたが、8月から9月にかけて発生した台風等による鉄道路線の運休や道路の通行止めがあったことなどから微減となりました。

## 4 訪日外国人来道者の宿泊延べ数

平成28年度上期の訪日外国人来道者の宿泊延べ数は、253万人泊で、前年同期と横ばいとなりました。

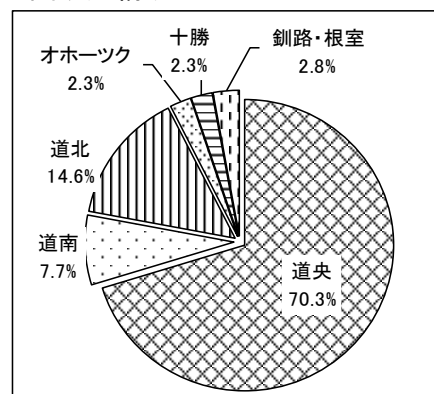
道北圏、オホーツク圏、釧路・根室圏が増加しましたが、道南圏は函館空港の国際定期便の減便や運休などにより、十勝圏は台風の影響による宿泊キャンセルなどから減少したほか、道央圏はほぼ横ばいとなりました。

圏域別にみると、道央圏が178万人泊と全道の70.3%を占め最も多く、次いで道北圏、道南圏の順となっています。

<圏域別訪日外国人来道者宿泊延べ数>

圏域	宿泊延べ数	前年同期比	増減数	構成比
道央	1,779,288人泊	▲0.2%	▲3,192人泊	70.3%
道南	195,574人泊	▲8.2%	▲17,487人泊	7.7%
道北	369,730人泊	+4.0%	+14,287人泊	14.6%
オホーツク	58,297人泊	+6.3%	+3,460人泊	2.3%
十勝	57,961人泊	▲2.5%	▲1,496人泊	2.3%
釧路・根室	71,886人泊	+6.9%	+4,665人泊	2.8%
全道	2,532,736人泊	+0.0%	+237人泊	100.0%

<圏域別構成比>



## 5 観光消費額単価

観光の消費額単価は、外国人が最も高く、次いで道外客、道内客の順となっています。

<平成28年度第1・2四半期 観光消費額単価>

(単位：円)

区分		日帰り	宿泊
第1四半期 (4~6月)	道内客	4,334 ( 4,286 )	23,004 ( 22,541 )
	道外客	10,250 ( 9,800 )	78,543 ( 77,033 )
	外国人	— ( — )	135,072 ( 151,491 )
第2四半期 (7~9月)	道内客	3,783 ( 3,472 )	26,572 ( 26,147 )
	道外客	25,304 ( 24,345 )	87,743 ( 87,191 )
	外国人	— ( — )	129,166 ( 150,498 )

※()内の数値は、前年同期の単価です。

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて算定している統計です。